2026年10月13日

各　　位

会社名　　株式会社　　大　　和
代表者名　取締役社長　　宮　　二　朗
(コード番号：8247　東証スタンダード市場)
問合せ先　経営戦略本部
財務部長　　長嶋　和生
(TEL.　076－220－1100)

特別損失の計上並びに2027年2月期 第2四半期（中間期）業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2027年2月期において、下記の特別損失を計上するとともに、2026年4月10日に公表しました2027年2月期第2四半期（中間期）（2026年3月1日～2026年8月31日）の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2026年4月10日に公表しました2027年2月期通期（2026年3月1日～2027年2月28日）の業績予想を、下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

Ⅰ　連結業績について

１．特別損失の計上

（１）2027年2月期 第2四半期（中間期）

当社は、2027年2月期第2四半期（中間期）において、連結子会社株式会社金沢ニューグランドホテル（以下「金沢ＮＧＨという」）の固定資産に係る減損損失672百万円及び経営構造改革に係るコンサルティング費用として事業構造改革費用85百万円を特別損失に計上いたしました。

（２）2027年2月期 通期

当社が保有する金沢ＮＧＨの発行済株式の全部及び同社に対する貸付債権を譲渡したことに伴う事業譲渡関連費用約100百万円及び経営構造改革に係るコンサルティング費用として事業構造改革費用約130百万円の特別損失を計上する見込みであります。

２．2027年２月期第２四半期（中間期）の業績予想値と実績値との差異（2026年３月１日～2026年８月31日）

（１）連結　　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（Ａ）	8,000	150	100	50	８円91銭
第２四半期実績（Ｂ）	7,935	139	154	△584	△104円30銭
増減額（Ｂ－Ａ）	△64	△10	54	△634	－
増減率（％）	△0.8	△7.2	54.4	－	－
（ご参考）前第２四半期実績（2026年２月期第２四半期）	7,992	155	174	190	33円94銭

（２）差異が生じた理由

連結の当第２四半期（中間期）は、個別決算における営業外収益の受取配当金が増加したこと等により、経常利益は前回予想を上回りましたが、特別損失（Ⅰ　連結業績について　１．特別損失の計上に記載のとおり）の計上により、親会社株主に帰属する中間純利益は前回予想を下回りました。

３．2027年２月期　通期業績予想の修正（2026年３月１日～2027年２月28日）

（１）連結　　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	16,000	250	150	100	17円83銭
今回修正予想（Ｂ）	16,000	250	150	△900	△160円47銭
増減額（Ｂ－Ａ）	0	0	0	△1,000	－
増減率（％）	0	0	0	－	－
（ご参考）前期実績（２０２６年２月期）	15,983	190	181	△1,132	△201円91銭

（２）修正の理由

通期の連結業績につきましては、売上面・コスト面の先行きは不透明でありますが、第２四半期(中間期)までの業績動向と特別損失（Ⅰ　連結業績について　１．特別損失の計上に記載のとおり）の発生見込みを踏まえ、通期の業績予想については売上高・営業利益・経常利益は据え置き、親会社株主に帰属する当期純利益は金沢ＮＧＨの事業譲渡関連及び事業構造改革に係る特別損失を織り込み、当初予想を修正いたします。

Ⅱ　個別業績について

１．特別損失の計上

（１）2027年２月期第２四半期（中間期）

当社は、2027年２月期第２四半期（中間期）において、金沢ＮＧＨの減損損失（Ⅰ　連結業績について　１．特別損失の計上に記載のとおり）計上に伴い、同社の債務超過が拡大したため、同社に対する関係会社事業損失引当金繰入額671百万円を特別損失として計上いたしました。また、金沢ＮＧＨの完全子会社化に向け追加取得した株式について、関係会社株式評価損197百万円を計上いたしました。

併せて、経営構造改革に係るコンサルティング費用として事業構造改革費用85百万円を計上いたしました。

なお、上記の関係会社事業損失引当金繰入額及び関係会社株式評価損につきましては、連結決算上では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

（２）2027年２月期通期

当社が保有する金沢ＮＧＨの発行済株式の全部及び同社に対する貸付債権を譲渡したことに伴う事業譲渡関連費用約100百万円及び経営構造改革に係るコンサルティング費用として事業構造改革費用約130百万円の特別損失を計上する見込みであります。

２．2027年２月期第２四半期（中間期）の業績予想値と実績値との差異（2026年３月１日～2026年８月31日）

（１）個別　　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（Ａ）	6,800	150	100	50	8円91銭
第２四半期実績（Ｂ）	6,721	173	124	△808	△144円12銭
増減額（Ｂ－Ａ）	△78	23	24	△858	－
増減率（％）	△1.2	15.8	25.0	－	－
（ご参考）前第２四半期実績（2026年２月期第２四半期）	6,790	184	140	165	29円47銭

（２）差異が生じた理由

個別の当第２四半期（中間期）は、特別損失（Ⅱ　個別業績について　１．特別損失の計上に記載のとおり）の計上により中間純利益は前回予想を下回りました。

３．2027年２月期　通期業績予想の修正（2026年３月１日～2027年２月28日）

（１）個別　　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	13,500	250	150	100	17円83銭
今回修正予想（Ｂ）	13,500	250	150	△1,100	△196円13銭
増減額（Ｂ－Ａ）	0	0	0	△1,200	－
増減率（％）	0	0	0	－	－
（ご参考）前期実績（２０２６年２月期）	13,448	278	130	△1,173	△209円19銭

（2）修正の理由

通期の個別業績につきましては、連結同様、売上面・コスト面の先行きは不透明でありますが、第２四半期(中間期)までの業績動向と特別損失（Ⅱ　個別業績について　１．特別損失の計上に記載のとおり）の発生見込みを踏まえ、通期の業績予想については売上高・営業利益・経常利益は据え置き、当期純利益は金沢ＮＧＨの事業譲渡関連及び事業構造改革に係る特別損失を織り込み、当初予想を修正いたします。

(注) 業績予想に関しましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上